

通し番号	4309
------	------

分類番号	19-71-22-05
------	-------------

(成果情報名) 平成18年え付け採卵鶏の経済検定
[要約] 採卵鶏の鶏種選定の一助とするため、ジュリア、ジュリア・ライト(ライト)、シェーバー・ホワイト(シェーバー)、マリア、ソニア、ボリス・ブラウン(ボリス)の6銘柄の経済検定を実施した。育成率は良好で、20週齢の体重は色玉鶏のボリス、次いでソニアが重くマリアが軽かった(P<0.05)。0~19週齢の飼料総摂取量は、体重が重かったボリス、ソニアが多く、軽かったマリアが少なかった(P<0.05)。生産性では、産卵率は良好で、平均卵重はライト、シェーバー、マリアが軽く、ジュリアが重かった(P<0.05)。日産卵量、飼料要求率は、銘柄間に有意な差がなかった。卵質では、ハウユニットは全銘柄が82以上と良好で、特にライト、マリア、ソニアは優れていた。卵殻強度はマリアが小さくジュリアが大きい値を示した(P<0.05)。収益性は非規格卵収益、規格卵収益ともに、ボリス>シェーバー>ライト>ジュリア>ソニア>マリアの順となったが、銘柄間に有意な差はなかった。
(実施機関・部名) 神奈川県畜産技術センター 畜産工学部 連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

採卵鶏の各銘柄は年々改良され性能・特徴が変化しており、各養鶏場に適合した銘柄を選定するか否かで養鶏経営の良否が分かれる。そこで、本県で普及している採卵鶏の銘柄について、それらの特質と能力を検定して養鶏農家における鶏種選定の指針を示す。

[成果の内容・特徴] (表1)

- 1 育成率は、全銘柄で98%以上と良好で、20週齢の体重は色玉鶏のボリス、次いでソニアが重くマリアが軽かった(P<0.05)。
- 2 産卵率、日産卵量、飼料要求率は、銘柄間に有意な差がなかった。
- 3 平均卵重はライト、シェーバー、マリアが軽く、ジュリアが重く(P<0.05)、マリアとジュリアの差は3g程度であった。
- 4 ハウユニットは、全銘柄が82以上と良好で、ライト、マリア、ソニアは産卵後期の78週齢でも80以上を保持しており、特に優れていた。
- 5 卵殻強度は、産卵前・中期の34、43、54週齢では、マリアが小さい値でジュリアが大きい値で推移し、平均でも、マリアが小さくジュリアが大きい値を示した(P<0.05)。また、卵殻厚、卵殻重、卵殻比率は、卵殻強度が小さいマリアが小さい値であった(P<0.05)。
- 6 収益性は、非規格卵収益、規格卵収益ともに、ボリス>シェーバー>ライト>ジュリア>ソニア>マリアの順となったが、銘柄間に有意な差はなかった。

[成果の活用面・留意点]

銘柄の特徴(生産性、卵質等)を考慮して、それぞれの販売方式に適合した銘柄を選定することにより経営向上が期待できる。

[具体的データ]

表1 育成期・成鶏期の成績（0～80週齢）

項目	ジュリア	ライト	シェーバー	マリア	ソニア	ボリス
[育成期（0～20週齢）]						
0～19週齢：						
育成率（%）	99.0	98.0	99.0	98.0	98.0	98.0
飼料総摂取量（g/羽）	7,972 bc	8,028 bc	7,745 ab	7,636 a	8,391 d	8,218 cd
20週齢体重（g）	1,524 ab	1,530 b	1,469 ab	1,429 a	1,688 c	1,793 d
50%産卵到達日齢	144.0 bc	143.3 abc	146.5 c	144.3 bc	141.0 ab	140.0 a
[成鶏期（20～80週齢）]						
・生産性						
産卵率（%）	80.7	82.9	82.1	80.1	83.0	83.2
平均卵重（g）	61.9 b	59.7 a	59.1 a	59.0 a	60.5 ab	60.6 ab
日産卵量（g）	49.7	49.4	48.5	47.2	50.2	50.2
飼料摂取量（g/日）	105.6 b	104.1 ab	101.2 ab	99.2 a	106.3 b	102.1 ab
飼料要求率	2.15	2.14	2.10	2.11	2.12	2.04
生存率（%）	90.4 ab	91.4 ab	94.8 ab	87.5 a	89.6 ab	99.0 b
・卵質（34、43、54、66、78週齢時の平均値）						
ハウユニット	82.7 ab	84.7 bc	84.4 abc	85.6 c	85.9 c	82.1 a
卵殻強度（kg）	4.40 c	4.16 bc	3.79 ab	3.45 a	4.03 bc	4.02 bc
卵殻厚（mm）	0.37 c	0.37 bc	0.39 d	0.34 a	0.36 b	0.37 c
卵殻重（g）	6.02 c	5.85 bc	6.06 c	5.34 a	5.73 b	5.90 bc
卵黄色	10.8 b	10.7 ab	10.7 ab	10.5 a	10.5 a	10.8 b
卵黄重	17.3	18.2	16.3	17.2	16.4	16.1
卵白重	40.2	37.9	38.4	38.2	40.8	40.7
卵殻重比（%）	9.50 b	9.46 b	9.99 c	8.81 a	9.14 ab	9.42 b
卵黄重比（%）	27.2 ab	29.5 b	26.8 ab	28.3 ab	25.9 a	25.6 a
卵白重比（%）	63.3 ab	61.0 a	63.2 ab	62.9 ab	64.9 b	65.0 b
血斑出現率（%）	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	1.00
肉斑出現率（%）	1.00 a	1.00 a	4.00 a	0.00 a	6.00 ab	14.00 b
・規格卵比率						
3L	2.9 b	1.4 ab	0.9 ab	0.6 a	0.9 ab	2.0 ab
LL	14.5 b	7.7 a	5.1 a	5.7 a	8.5 ab	7.7 a
L	30.4 b	25.4 ab	21.0 a	25.3 ab	28.5 b	27.1 ab
M	29.2 a	33.3 ab	40.0 b	35.8 ab	35.2 ab	36.4 ab
MS	17.5	22.4	23.3	20.0	20.9	21.1
S	5.3 a	8.9 b	9.1 b	11.0 b	5.7 a	5.5 a
SS	0.4 ab	1.0 b	0.8 ab	1.8 c	0.5 ab	0.2 a
パック卵（L～MS）	77.0 a	81.1 ab	84.2 b	81.1 ab	84.6 b	84.5 b
・収益性（生産卵量×卵価－ヒナ代－飼料費：円/羽・年）						
非規格卵価	343.9	351.1	358.6	337.6	337.9	406.7
規格卵価	388.1	420.2	424.0	379.3	386.3	462.5

※同一項目内において異符号間に有意差あり（P<0.05）

[資料名] 平成19年度試験研究成績書（繁殖工学・養豚・養鶏）

[研究課題名] 採卵鶏の性能比較調査

[研究期間] 平成17～19年度

[研究者担当名] 平原敏史